

V 道路改良事業：主要地方道呉平谷線（呉市上二河～此原）

(1) 事業概要

- ① 事業箇所 呉市上二河町～呉市焼山此原町
- ② 規模等 道路延長：2,400m 車道幅員：12.0m（全幅員：19.0m）
- ③ 全体事業費 9,400百万円（前回の再評価時は10,620百万円）
- ④ 工期 平成16年度～令和11年度（前回の再評価時と同じ）

(2) 再評価の事由

前回の再評価後5年が経過した時点で継続中の事業であるため。

(3) 審議内容

① 事業の内容と必要性

本路線は一般国道31号を起点に安芸郡熊野町に至る、呉市の南北軸を形成する幹線道路で、本県の第二次緊急輸送道路に位置付けられている。

すでに本事業区間は一次改良済みではあるが、急峻な地形で線形も悪く、沿線の急速な開発等により、朝夕には慢性的な渋滞が発生している。また、豪雨等の災害時に通行止めとなることもあり、代替路線の確保が必要求められていることから、引き続き本事業を推進していく必要がある。

② 事業を巡る社会情勢及び必要性等の変化

国勢調査によれば、呉市の人口は、平成22年度の239,973人に対し、平成27年度は228,552人と、減少傾向にある。この傾向は事業区間の交通量に関しても同様で、道路交通センサスによれば、平成22年度は22,325台/日平成27年度は19,417台/日である。

しかしながら、前述の通り本路線は第二次緊急輸送道路に位置付けられており、大規模な災害が発生したときの本地域における救命活動や物資輸送などを迅速かつ確実にを行うためには不可欠な路線であることから、現時点でもその必要性は変わらないと考えられる。

③ 進捗状況と今後の見通し

事業は計画どおり進捗しており、令和11年度の完了に向け、順調に事業が進んでいる。

④ 事業費の増減と現時点での費用便益比

前回の再評価時と比較し、全体事業費が94億円と、12億円減少している。これは、暫定整備形の見直しなどによりコスト縮減が図られたことによる。

費用便益比B/Cについては、「費用便益分析マニュアル（H30.2国土交通省道路局 都市・地域整備局）」に準拠して行われた分析によれば、評価期間を供用後の50年間、社会的割引率を4.0%とした結果、前回の1.4（総便益(B)：125.1億円、総費用(C)：86.8億円）から1.6（総便益(B)：139.5億円、総費用(C)：86.2億円）と増加している。その主な理由についても、コスト縮減が図られ、総費用が減少したことによる。

⑤ 地元からの要望

地元の呉市は、周辺地域の広域的な連携・交流や住民生活、経済活動を行う上で極めて重要な役割を担っており、また、地元住民からも早期完成を求める強い要望が出されている重要な路線であることから、早期完成を要望している。

(4) 結論

事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施については適当と判断する。

関係各位には、予定としている令和11年度までに事業を完了させ、計画どおりの事業効果が得られるよう、一層の努力をお願いします。